

## <2023年7月の屋上庭園>

7月になると、満開のアガパンサスが目を引きます。

梅雨というのに、本当に雨の少ない香川。

7月中、雨の日と言っていいような日は2~3日しかありませんでした。雨の力は本当にすごいですね。雨上がりの植物たちは、十分に潤った顔をしてきらきらと輝くような姿をしています。どんなにたっぷり水遣りをして、雨上がりの時の表情を見せてくれることはありません。

「雷の多い年は豊作」という伝承がありますが、これは科学的にも立証されているようで、雷雨には通常の雨水よりも1.5倍もの窒素が含まれているそうです。（窒素は植物の葉や茎の成長を促す大切な養分。）



夕立の後。綺麗な虹のアーチが架かりました。

雷雨には養分的な効果が含まれているのが要因の一つとして、普通の雨水なのにどうしてここまで植物は雨で生き生きと元気になるのか……。日照、湿度、光合成などなどたくさんの要因があるのでしょうけど、人間の無力さを感じてしまいます。自然の力は偉大なり。恵みの雨、どうか降ってください……。

しかし、雨が少ない土地のため、小麦の収穫が盛んとなり小麦を使ったうどんが拡がり定着した歴史を考えると、うどん好きな私としては、この気候風土も愛すべき所ではあります。



ブルーサルビアやロシアンセージが暑さを和らげてくれるよう



咲き始めのパイナップルリリー

